

2輪貸切走行車両規定および装備

1. ノーマル車両の定義

国内メーカーより市販された車両で、吸排気系が完全ノーマル状態のもの。
外国メーカーの車両は、国内メーカーの車両と同等の排気音量とする。

2. 登録車両(ナンバー付き)の定義

一般公道での使用を目的に、『道路運送車両法』および『道路運送車両法の保安基準』の車検合格した登録車両(ナンバー付き)。
なお、車検対応範囲内での変更(改造)は可能。

3. 競技車両(レーサー)の定義

- ① 競技を目的に製作された専用車両。
- ② 一般市販車をベースに競技用に改造された車両。

4. 保安部品

ノーマル車両および登録車両(ナンバー付き)での走行の際は、ヘッドライト、ウインカー、バックミラー等を取り外さなくても構いません。その場合、ビニールテープ等で飛散防止対策をしてください。また、保安部品の一部を取り外していただくことも構いません。

5. タイヤ・ホイール

タイヤバランス用ウェイトは、ガムテープで固定し脱落がないようご注意ください。

6. サイクル車両オイル受けアンダーカウル装着について

4サイクル車両のオイル漏れによる転倒事故が多発しております。事故防止のため、オイル受けアンダーカウルの装着を強く推奨します。

7. ゼッケン

タイム計測を行う場合はゼッケンの貼付が必須となります。フロント及び両サイドに貼付をお願い致します。

8. 音量について

走行する全ての車両は、消音効果を持つサイレンサーを装着し、下記の音量規制に合致したものに限定させていただきます。

コース2000

車両区分	音量規制値	
	距離 (m)	音量 (dB)
○ 競技用車両 (レーサー)	0.5	105以下
○ 登録車両 (ナンバー付き)	0.5	96以下
○ ノーマル車両	0.5	85以下

- ① 自走による参加車両は、公道では保安基準適合範囲内の音量を超えないようにしてください。
- ② 測定方法は、車両の排気量別に定められた回転数(目安: 5,000から7,000回転)で行います。音量測定をご希望の方は、コントロールタワー1Fまでお申し出ください。

コース1000

- ミニバイク / 2ストローク49cc以上85cc以下の車両・4ストローク170cc以下の車両 音量105dB以下
- 2輪(上記ミニバイク以外) / 上記表、コース2000に準ずる。

9. 服装

- ① レーシングスーツは、皮製もしくは皮製と同等の素材のものでMFJ公認のものを推奨します。ただし、2ピースタイプは、MFJ公認のものに限ります。また、脊椎パッドは、必ず装着してください。装備のないレーシングスーツを着用される方は、別体式の物をご用意ください。
- ② レーシンググローブは、皮製もしくは皮製と同等の素材のもので指先および手首が覆われているものに限ります。
- ③ レーシングシューズは、レーシングタイプで高さが200mm以上あるものを推奨します。
- ④ アンダーウェア・インナースーツの着用を推奨します。

10. ヘルメット

ヘルメットは、フルフェイスに限り、MFJ公認のものを推奨します。

『ジェット型、2WAYタイプのシステムヘルメット、半キャップ、工用は不可です』

また、一度転倒等で衝撃を受けたものや、たとえ外傷等がないものでも使用が2年以上過ぎた場合には、衝撃吸収力が低下している場合がありますので、新しいものとの交換をお勧めします。

11. 車載カメラ・無線機

装備品(ヘルメット、スーツなど)に車載カメラや無線機を装着することは禁止します。

車体へのカメラ、無線機およびデバイスの取り付けを行う場合は、走行中に落下しないよう万全な対策を行っていただきます。

取り付けステーの全長は可能な限り短く数センチ以内とし、ワイヤーロックなど脱落防止の対応を施してください。取り付けステーの長さや取り付け状態によっては、外していただく場合もありますのでご注意ください。